

令和3年1月15日

食料科学委員会 畜産学分科会（第25期・第1回）議事録要旨

1. 日 時 令和3年1月15日（金）10:00～10:40
2. 場 所 ビデオ会議
<https://us02web.zoom.us/j/86889194549?pwd=V3J0bDZ1NXliVVBaZjlqSnRzZFNZdz09>
ミーティングID: 868 8919 4549、パスコード: 626783
3. 出 席 眞鍋昇（二部会員）、枝重圭祐、小澤壯行、木村直子、柏崎直巳、
束村博子、遠野雅徳、吉澤緑、後藤貴文（連携会員）
- 欠 席 なし

4. 議事

以下、（1）～（3）は、眞鍋昇会員の進行で行った。

- （1）定足数の確認：9名が出席し、分科会は成立した。
後藤貴文委員より自己紹介を頂いた。
- （2）前回（第24期・第7回会議）の議事録要旨案の承認
第24期第7回分科会の議事録要旨案を確認後、承認した。
- （3）報告事項：前回分科会（令和2年9月7日開催）以降の幹事会などの活動について、眞鍋会員から報告があった。事前配信した【第25期の分野別委員会、分科会等の活動について（お願い）】ならびに令和2年12月16日発出【日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）】を踏まえて、今後ご活動を願いたい。

（4）審議事項

- A. 第25期畜産学分科会委員長、副委員長及び幹事の選出
互選により委員長に眞鍋昇会員が選出され、了承された。その後眞鍋委員長から、副委員長に吉澤緑委員、幹事に枝重圭祐委員、後藤貴文委員、木村直子委員が提案され、了承された。以降、本会議の進行は、眞鍋委員長が務めることとなった。
- B. 特任連携会員の選出
畜産学分科会委員の世代や所属機関のバランス、国際交流活動などを勘案し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門（ユニット長）の菊地和弘先生を特任連携会員として推薦することが提案され、了承された。
- C. 第25期の活動のまとめについて
眞鍋委員長より、第23期の開催分まで遡り、実施済みの公開シンポジウムの内容を「記録」として第25期に発出するために準備すること、木村直子委員

に各資料の収集取りまとめを担当頂くことが提案され、了承された。

D. 当面の分科会が関わるシンポジウムについて

- 1) 日本畜産学会第128回大会（令和3年3月28～30日、オンラインで開催予定）に合わせて、3月29日に公開シンポジウム「ポストコロナの日本の畜産」を共催する件の趣意書について、柏崎直巳委員と小澤壯行委員から報告があり、了承された。
- 2) 日本繁殖生物学会では、オンラインセミナー（令和3年5月8日開催予定）を共催する件について、「SDGsにおける繁殖生物学の役割（仮題）」で、東村博子委員から企画の上、2月に趣意書等提出する旨の報告があり、了承された。

E. その他

吉澤緑副委員長より、日本畜産学会理事会に、第24期・第7回会議の議事録要旨を、情報共有したい旨提案があり、了承された。

(5) その他

- ・小澤壯行委員より、日本畜産学会では、2020年度末に役員選挙があり、2021年度以降は、新役員体制となる旨の報告があった。
- ・次回第2回分科会は、日本畜産学会第128回大会会期中の3月29日開催公開シンポジウム「ポストコロナの日本の畜産」に前後して、開催予定。詳細の日時は、調整後、改めて連絡することを確認した。

配布資料：

- ・ 日本学術会議畜産学分科会（第25期・第1回）議事次第
- ・ 資料1：畜産学分科会第24期・第7回会議議事録要旨案
- ・ 資料2：特任連携会員推薦様式
- ・ 資料3：第25期の分野別委員会、分科会等の活動について（お願い）
- ・ 資料4：日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）
- ・ 資料5：公開シンポジウム提案書例
- ・ 参考資料：第25期畜産学分科会名簿

本委員会にあたっては、以下の職員が事務を担当した。

原澤千春 参事官（審議第一担当）付 第2部担当

以上